

国土交通省 トラック・物流荷主特別対策室主催

トラック物流問題解決に向けた オンライン説明会【第36回】のご案内

次回開催日時：**令和8年7月16日(木)14:00～**

7月の担当：**近畿運輸局**



- ✓ 全国の運輸局が毎月ローテーションで担当することで、全国の情報をお届けします
- ✓ 左のQRコードか、「オンライン説明会 国土交通省」でWeb検索し、サイト上の【オンラインURL】よりご参加ください

これまで約**16,400**人が視聴しています

説明会の主な内容（7月予定）

- ① 国土交通省最新トピックのご紹介
- ② 「トラック・物流Gメンが会った事例紹介」
～問題点と解決ヒント～
- ③ 標準倉庫寄託約款改正について
(令和8年4月1日施行)



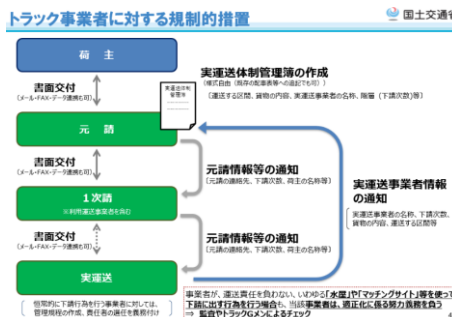
説明会の様子

最近のトピックをご紹介

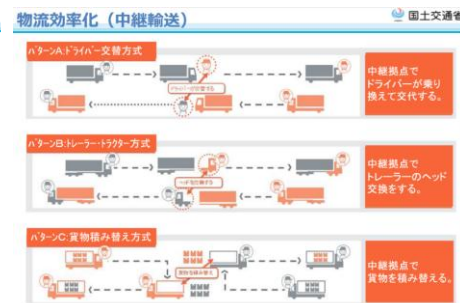
総合物流戦略大綱(2026年度～2030年度) 概要①

- 物流を単なるコストではなく、新たな価値を創出するサービスとして捉え直し、より上で魅力ある産業へと転換させるため、改訂「総合物流戦略大綱」を策定。
- 我が国の社会経済全体が直面する現状・課題
 - 高齢化する人口減少や担い手不足
 - 社会全体のデジタル化やイノベーション
 - 気候変動対策が加速する中でのエネルギー不足
 - 国際競争力の低下や生産性向上の困難
 - 大規模自然災害やインフラの老朽化
- 今後の物流政策の方向性
 - 2030年度までの物流革新の「集中改革領域」において、従来にない対策を抜本的かつ計画的に講じることで、競争に打ち勝つ持続可能性を確保。これにより、我が国の経済エンジンを公共性の高いサービスとして再構築し、成長を促す。
 - 国土交通省の下、次期「物流大綱」が目指す今後の物流政策を、下記の5つの観点に分類し、国のみならず、物流事業者、荷主等と、一層の連携を求め、物流に携わるすべての関係者が一致団結し、整備の進捗を切り拓く新たな体制の構築を図る。責任と役割を明確にし、一歩前進、成長を促す。
 - ① サービスの供給制約に対応するための制度的物流効率化
 - ② 物流全体の最適化に向けた高償行の規制緩和や荷主・消費者の行動変容、産業構造の転換
 - ③ 持続可能な物流サービスの提供に向けた物流人材の地位・能力の向上と労働環境の改善
 - ④ 物流に携わる多様な関係者の連携・協力による物流標準化と物流DX-Gの推進
 - ⑤ 風しきを増やす国際情勢や自然災害等に対応したサプライチェーンの高度化・強靭化

法改正の内容を詳しく説明



物流効率化参考情報提供



※参考イメージ(内容は毎月異なります)

(参加者コメントのご紹介)

- トラック事業者** : 法改正のポイントは自身で探しに行く必要があるが、要約され説明される事で理解がしやすい。
- 発着荷主事業者** : トラックドライバーの業務範囲が理解できたため今後の運送会社との契約に反映させていただきます。
- : 物流課題への具体的な取り組みが把握でき、リスクに対し、どう対処していかなければいけないかの方向性が見えてくる。

【Gメンからのお願い】 荷主等に関するお困りごとは、是非**目安箱**に投稿してください。👉
 (例) “いつも荷待ちをさせられる”, “こんな作業までさせられている”, “運賃交渉に応じない”



目安箱
投稿用
二次元
コード